## ボーリング柱状図

	調 査 名															ボーリ	ングNO.			П										
					事	<b>業・</b>	Ι	事名	3															シートNO.						
ボ	<b>-</b> リ	ング	'名	式 大町橋B-2(右岸) 調査位置															北級	章 3	6°1	9 ' (	07.60	00 "						
発	注	機	関	栃木県足	足利土木	事務	斩 ;	河川						調査期間 2009-01-22 ~ 2009-01-					9-01-2										000 "	
調	查第	《 者	名						主任技師			現 場 代 理 人			コア								ボーリン グ責任者							
孔口標高				37.07 m	1 90			方 270	水平	水平 0° 用 ##		試 錐 機		機						ハンマ 落下月										
総掘進長			長	16.31 m	度	下	0.00	١	向西東勾置	・レ	.00°	機 種	I	ンジ	ン								ポン	プ						
標標層深			\	1.		_			±7	1.1.	71	1				 標 準 貫 入			``						ᄷᆇᆉᅑ	±-±	₩N +22	H17	_	40
標	標	層	深	柱	土	色	相	١	記	地層岩	孔内水	深	100	-m -			<del>华</del>	貝		可以	映				位置試験  試 験 名	深	料採	_	室	掘
尺	高	厚	度	状	質			対		岩体区	位 (m)	度	打	mご 撃回	数										および結果	度	料	取	内	進
					X				_	分	/		0	10	20	数/											番	方	試	月
				図	分	調	度	度	事		測定月		10	20	30	貫入量			Ν	•	_値 						号	法	験	日
(m)	(m)	(m)	(m)		* - 45			軟	0 0 0 881446   5574		日	(m)		20	30	(cm)	0	10	) 2	0 3	80	40	50	(m)		(m)				
	36.37	0.70	0.70		盛土(砂混 じりシル ト)	暗褐		らかい	0~0.2m間は粘土質砂 0.2以深は砂混じりシルトでなり , 不燃物混じる	樂																				
-1					(BS) シルト (M)	暗			含水量が中位で粘性は小さい 腐植物,細砂分が混じる 2.0m付近から砂分が多く混じる			1.15														1.15				-
-2						暗褐~暗		軟らかい			01/22 1.80	1.55	40			40	1									1.55	B2-1	$  \odot  $		
-2	34 67	1.70	2.40			灰		"			Ξ	2.15	0	3		3														-
-3	04.01	1.70	2.10		砂礫 (GS)				10~50mmの円・亜円礫が主体 100~200mm(コア長 L=30~70mmの3倍程度として推			2.60	40	5		45	2		\											
-3 -				0.0.0.					)の玉石が点在 礫間は粗砂により充填され細粒ケ の混入は少ない			3.15	15	15	13	43_30	43					•								-
-4				0.0.0.			中ぐ		5.8m付近から砂・粘土分が多く) じる 全体にルーズな堆積状態であり	昆		3.45																		
-						褐	551		,崩壊し易い			4.45	13	13	15	30	41					+				4.45	B2-2	0		
-5												5.15				43 _						$\perp$								_
				0.0.0.0								5.45	13	14	16	30	43					•								01/22
-6	31.07	3.60	6.00	0.0.0	粘土質細砂		緩		粒径均一な粗砂を呈す	+		6.15				7_										6.15				-
-	30.37	0.70	6.70	0.0.0	(FSC) 砂礫	褐	ίì		上部は粘土分が多く混じる 10~50mmの円・亜円礫が主体			6.45	1	2	4	30	7		\							6.45	B2-3	0		
-7 -				0.0.0.0	(GS)				である 100~200mm(コア長			7.15	13	17	14	44_30	44					•				7.15	B2-4	<u></u>		-
- - -8				0.0.0.					L=30~70mmの3倍程度として推 )の玉石が点在	定		7.45										$  \  $				7.45				
-0 : : :				0.0.0.0		褐	非		礫間は粗砂により充填され粘土分が多く混じる			8.30	31	19_5		50 15	>50						7							
-9						暗褐	常に密		7.6m付近から暗褐を呈し少量の放水・崩壊が有る	<u>兆</u>		9.15		24_		50_						<u> </u>								_
-				0.000			な		9.8~9.85m間は砂を挟む			9.32	26	7		17	>50													
-10				0.000								10.15	50			50_8	>50						<b>&gt;</b>							-
	26 17	4 20	10.00	0.000								10.23																		-
-11 - - -12	25.77		11.30	0.0.0.	粘土 (CH) 粘土混じ	淡褐		中位	含水量がやや多く粘性が大きい 10~50mmの円・亜円礫が主体			11.15	3	12	13	28 30	28			•						11.15 11:28	B2-5 B2-6	2		-
-				0.0.0.0	和工ルし り砂礫 (GS-C)				である 100~200mm(コア長 L=30~70mmの3倍程度として推			11.45		12												11.45				
-12 : :				0.0.0.0					)の玉石が点在 礫間は粗砂により充填され細粒ケ			12.15	17	19	14_9	50 29	>50													01/23
-13				0.0.0					の混入は少ない 11.6m付近一時的に逃水するも崩			13.15			21	50														_
Ė				0.000			非常		壊はない 12.6~12.9m間は砂分が多い 13.1~13.25m間砂質粘土を挟む			13.42	8	21	21 7	50 27	>50													
-14						褐	に密な		全体に密実な堆積状態を呈す			14.15		31_		50_						-								-
-				0.000								14.33	19	8		18	>50													01/24
-15				0.000								15.15	27	23		50 17	>50													-
- - -16				0.000								15.32																		
-16 :	20.76	5.01	16.31	0.000						4		16.15 16.31	33	17 6		50 16	>50					_								01/26